

校歌 永遠の幸

(札幌農学校校歌)

大和田建樹氏 校閲

有島武朗君 作歌

納所弁次郎氏 選曲

一

永遠^{とこしへ}の幸朽^{きうち}ちぎる 誉^{ほまれ}

つねに我等^{われら}がうへにあれ

よるひる育^{そだ}てあけくれ教^{おし}へ

人^{ひと}となしし我庭^{わがにわ}に

(※)

イザイザイザ

うちつれて進^{すす}むは今^{いま}ぞ

豊平^{とよひら}の川^{かわ}尽^{つき}せぬながれ

友^{とも}たれ永^{なが}く友^{とも}たれ

二

北斗^{ほくと}をつかんだかき希望^{のぞみ}は

時代^{とき}を照^{てら}す光^{ひかり}なり

深雪^{みゆき}を凌^{しの}ぐ潔^{きよ}き節操^{みさお}は

国^{くに}を守る力^{ちから}なり

(※繰り返し)

三

山^{やま}は裂^さくとも海^{うみ}はあすとも

真理^{しんり}正義^{せいぎ}おつべしや

不朽^{ふきゅう}を求め意気^{いき}相^{あい}ゆるす

我等^{われら}丈夫^{ますら}此^こにあり

(※繰り返し)

(注 有島武朗在学中の明治三十三年の作。)

大和田建樹(二八五六・一九一〇)は作詞の面で、

納所弁次郎(一八六五・一九三六)は作曲の面で、

共に近代日本唱歌史に大きな足跡を残した。)